

第38期第18回理事会議事録

日 時：2016年1月26日（火）13時30分～17時

会 場：ちよだプラットフォームスクウェア 会議室402

出席理事：新野 宏，藤谷徳之助**，佐藤正樹，塩谷雅人，竹内綾子，竹見哲也，田中 博，中島映至，中村 尚，藤部文昭，山田和孝，以上11名

Web会議システムを通じた出席理事：岩崎俊樹**，長谷部文雄，余田成男*，以上3名

*：議題4の途中から出席

**：議題4の途中から欠席

（理事現在数20名）

その他の出席者：下道、渡辺、志村（事務局）

議 題

1. 第38期第17回理事会議事録の確認

2. 会員の新規加入等について

新入会6，退会84を全会一致で承認した。2016年1月20日現在，会員数3,473名で個人会員は3,224名。

3. 個人情報保護方針について

個人情報保護方針の改定案として，特定個人情報の取扱いについて別途定める方針を全会一致で承認した。特定個人情報の取扱いに関する基本方針及び取扱規程についても検討し，全会一致で承認した。

4. 各委員会からの報告

庶務…

1) 転載許可

①申請者：Ki-Ho Chang (National Institute of Meteorological Sciences, Korea Meteorological Administration)

転載元：村上正隆他編集，人工降雨・降雪研究の最前線，気象研究ノート，第231号

転載先：Frontier of Artificial Rainfall and Snowfall Research (Translation in Korean language),

Weather Science Institute Co., March 2016.

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：第31回北方圏国際シンポジウム

主催：紋別市

期日：2016年2月21日～24日

場所：紋別市民会館・紋別市文化会館

名義：後援

②名称：第5回環境放射能除染学会研究発表会

主催：一般社団法人 環境放射能除染学会

期日：2016年7月6日～8日

場所：福島県文化センター

名義：後援

③名称：第6回分野4次世代ものづくりシンポジウム（最終結果報告会）

ーパソコン

「京」がひらく科学と社会ー

主催：東京大学生産技術研究所，国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構，国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

期日：2016年3月23，24日

場所：東京大学生産技術研究所 コンベンションホール

名義：協賛

④名称：防犯防災総合展 in KANSAI 2016

主催：防犯防災総合展実行委員会，テレビ大阪株式会社

期日：2016年6月9，10日

場所：インテックス大阪（大阪市住之江区南港北1-5-102）

名義：後援

3) 第39期役員選挙管理委員会

1月12日 役員立候補届出の締切

1月14日 第2回選挙管理委員会

1月15日 学会HPに立候補者名を公示

4) その他

①1月7日 (独)大学評価・学位授与機構に「学協会における、大学・大学院教育の分野別質保証の取り組み状況に関する調査」に関する回答を提出

②1月9日 日本学術会議主催学術フォーラム「防災学術連携体の設立と東日本大震災の総合対応の継承」に理事長出席

会計…2015年12月分の収支及び現預金検査報告。

企画調整…大会運営の改善案に対する会員からの意見に対する回答案を理事会として確認した。回答を「天気」に掲載する。第4回支部長会議に向けて第3回会議の論点を整理した資料を提示した。今後、これらの資料を基に、第4回支部長会議に向けた準備を行う。

天気…以下の報告があった。

・Vol. 63 No. 1(2016年1月号)の掲載記事と、Vol. 63 No. 2, 3, 4(2016年2, 3, 4月号)の予定記事。

気象集誌…編集委員会からのお知らせを天気に掲載し、同一著者による1年以内の投稿論文への投稿料の減免措置及び特集号・特別号の企画奨励の周知を行う予定であることが報告された。また、気象集誌論文賞が2編の論文に決定したことが報告された。

SOLA…2015年の投稿論文数が77編、出版済みの論文数が40編であることが報告された。また、SOLA論文賞が決定したことが報告された。

気象研究ノート…第232号の印刷について、急遽業者変更を行ったことが報告された。

各賞…藤原賞及び岸保賞の候補者の推薦について、両賞候補者推薦委員会より候補者が提示され、推薦理由についてチェックを行った。今後、全理事の投票を経て受賞者を決定する。

学術…「航空機観測による気候・地球システム科

学研究の推進研究計画書」に関する意見募集が終了したことが報告された。大型研究のマスタープラン2017の今後のスケジュールについて報告された。

地球環境…「地球温暖化」(朝倉書店)第3刷を用意していることが報告された。

気象災害…JpGUのユニオンセッションへの気象学会としての対応案等について検討を行った。教育と普及…夏季大学2016について、「エルニーニョ現象と異常気象(案)」で検討していることが報告された。

国際学術交流…Asian Conference on Meteorology (ACM) 2015の報告を天気2月号に掲載予定であることが報告された。

5. 防災学術連携体について

防災学術連携体の設立総会が開催され、防災連携委員会の幹事に筆保委員が着任することが報告された。また、幹事会が意思決定の場となっており、幹事会への対応について検討した。

6. 福島復興・廃炉推進に関する連絡会について

12月21日に学協会連絡会が開催されたことが報告された。幹事学会の原子力学会から今後の方針が提案される見込みであることと、もう一人の委員の人選について検討した。

7. IFMS(International Forum of Meteorological Societies) 報告について

中島理事から、2016年1月に行われたIFMS会合について報告。問題点についてコメントしたことが報告された。

平成28年 2月 22日

公益社団法人日本気象学会
理事長 新野 宏